

## 中学生の「税についての作文」



租税教育推進活動の一環として納税貯蓄組合総連合会並びに関係協力団体が中学生の「税についての作文」を募集し、川崎区・幸区の中学校から多数の作品が寄せられ、川崎南税務署長賞をはじめ各団体賞があり厳正な審査の結果、当川崎南法人会会長賞に川崎市立渡田中学校3年生、中山恵実さん、川崎市立南加瀬中学校3年生、蛭原帆奈海さん、川崎市立富士見中学校3年生、佐藤優希さんの3作品の作文が選ばれましたのでご紹介します。

### 消費税増税は必要

川崎市立渡田中学校3年

中山 恵実

税とは、どのようなものなのでしょうか。私達中学生にとって、一番身近に感じられるのは、やはり消費税だと思えます。物を買う時に、誰もが払っています。

消費税といえば、今年四月に5%から8%に上がりました。これは、日本国民として、日本国民の誰もが知っておかなければならない事です。この増税に対して、みんないろいろな考えを持っていると思います。正直、私も上げる必要あるのだろうか、と思いました。増税した四月、私は国民から納められた税金は何に使われるのか、とか、どのような人が消費税以外のどのような税を納めているのか、などの税についての知識が全くありませんでした。

ですが、今は税についての知識も少しつき、増税についての考えが変わりました。増税に反対だった人は、少なくなっていると思います。では、税金が足りなくなるとします。税金が一番多く使われているのは、社会保障関係です。なので、もしそうになったら、救急車で運ばれるのにも、お金を払わなくてはなりません。

私はそれを知り、やはり税金は必要なんだと思いました。でも、所得税などが納められているのに、消費税増税をする必要があるのだろうか。その理由は、消費税は安定して税収できるからです。例えば、所得税だと一人一人の給料は毎年変わるため、安定しないのです。

この二つの事を知り、増税に対する考えは、反対から賛成に変わりました。そして、特に税金は必要という事がよく分かりました。税金

を納めるのが大変という人が、いるかもしれませんが、みんな納めなければ生活がもっと大変になると思います。その事を、日本国民のみんなに分かって欲しいと思います。

消費税についてですが、今年四月に増税したばかりです。なのに、政府は来年十月にさらに10%に引き上げる予定です。なぜ、そのような事になってしまったのでしょうか。

私は、脱税をする人がいるからこのような事になってしまったのだと思います。一人が、そのような事をするだけで、日本国民の全員が困ることになります。私達中学生は、まだ消費税でしか税金を納めていませんが、大人になったら別の形で納める事になります。なので、今の内に税金を納める大切さを学び、脱税などをする人がいなくなっ

## 中学生の「税についての作文」

### 税は社会で 生きるための『会費』

川崎市立南加瀬中学校3年

蛸原 帆奈海

私達の生活と税金は密接な関係にある。税金と聞いて私は消費税をまず思い浮かべるが、日本にはこれ以外にも所得税や法人税など国に納める税、二十二種類、県民税など県に納める税、十三種類、市町村に納める税、十三種類の計四十八種類もの税があるそうだ。でもこんなに納める必要があるのかと私は思う。そもそも税金とは、勤労・教育の義務と並び納めることが国民の三大義務の一つとして憲法に定められており、私達が社会で生活していくための言わば「会費」なのだそうだ。

では主な使い道とは？年金や医療、福祉、生活保護など公的サービスの「社会保障」、道路、水道など施設整備の「公共事業」、教育や技術発展のための「文化及び科学振興」「防衛(他国への「経済協力」「国債(国の借金)返済」などに使われている。学校の教科書、イス、黒板、先生の給料や公園整備、私もよく行く図書館なども税金で賄われている。私は母子家庭なのだが、母に聞くと就学援助とって私の学用品や修学旅行費、医療費なんかも税金で賄われており、生活を支えられているそうだ。このように税金は私達の生活を豊かで安心したものにすため使用され、とても大切なものということがわかった。

しかし最近、税金に関しての問題が多く起きています。例えば、脱税や滞納だ。平成二十五年には総額百四十五億円の脱税があったそうだ。また今年四月に消費税が増加した際も抗議運動がたくさん起ったと言っています。でもこのことについて前述したように国をもっと豊にするための税なんだからしっかり払うべきだと思ふ。だがしかし、二〇〇七年に起きた社会保険事務所

の職員による年金横領問題などが起きると何のために払っているのかわからず不満が出てくるのも仕方がないのかなと思ってしまう。

私はまだ十五才で、大人のように色々な税金を払っていないが、もう少しすれば社会の一員として税金を払う義務が発生してくる。今回、税について作文を書くにあたり、様々なことを調べ少しは税金の大切がわかったと思う。だから私は、大人になり税金を払うとききちんと払っていきたいと思う。そしてまた、税金を払うにあたり不満感やイヤな気持ちをもつような問題が起こってほしくない。これから税金が有意義に使用され、日本がもっともっと豊かになっていくことを私は切に願います。

### 7つの間違い探し



#### 【作者紹介】

神谷一郎 (かみや・いちろう) イラストレーター、デジタルイメージ会員、日本出版美術家連盟会員など。専修大法学部卒後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラスト

中学生の「税についての作文」

身近にある『税』

川崎市立富士見中学校3年

佐藤 優希

僕たちが普段何気なく見ている世の中には、あまり考えたくも無いが税金がとも使われていることが分かる。少し考えただけでも、公共機関や公共施設などたくさん使い方を思い

浮かぶ。では、果たして税金はどのように使われて、どのように集められているのだろうか？

最近のニュースで目立ったものでは、「消費税増税」関連のニュースがよく報道されていた。最初に、僕は消費税を増税することによって買い物をする回数が減って世の中が回らなくなってしまうのではないかと思った。しかし、調べてみると国の収入のうち半分以上が消費税・所得税・法人税がトップ3を占めている。また、日本国憲法の中に書かれている国民の義務の中に

も「納税の義務」というものがある。僕は、直接は消費税にか関わる税金が無いが国の収入として税金がとも大切だということが実感することが出来た。しかしながら、これだけ世の中で重要な納税をしていない人もいることも事実である。

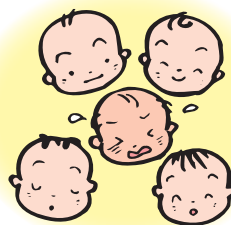
では、集められた税金はどのように使われているのだろうか？

国の支出では、社会保障での支出が全体の約三割を占めている。社会保障の内容は公的サービス全般のことで生活保護・医療保険・年金制度・老人福祉・介護・少子化対策・失業保険のことで誰もが関わっているものである。しかし、日本は急速な少子化が進んでいてそれにより社会保障をよく使う年配者が増えていく一方で、納税をする働き手の数も急速に減っていている。そのために、年配者に対しての働き手の比率が減っていき、国の収入よりも支出が多く

なっている。また、僕たちにとっても身近な教育にもとても税金は使われている。その額は、年間の生徒一人当たりに対して約百万円もの金額が国の税金でまかなわれている。

税金は、とても僕たちに役に立っていることが理解することができた。しかし、その一方で少子化が急速に進みその対策として税金がどんどん使われてしまっていて収入よりも支出がどんどん多くなってしまっている。

る。そのため消費税が上がってしまうことは仕方が無いと僕は思う。僕は中学卒業後、社会人の第一歩として重要な税金を大切にしたいと思う。それは、未来の日本のために国民全ての夢を実現するために重要だ。



\* 右の絵と左の絵には相違点が7か所あります。見つかりますか？(答えは7頁にあります)



レーターとして、雑誌・広告・WEB等で活躍中。第35回集英社YJ新人賞、第51回講談社漫画賞などを受賞。第4回デジタルアートコンテスト佳作。著作に「マニアックサイバー」(グラフィック社刊)。